

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 9 月 24 日 (2009.9.24)

【公表番号】特表 2008-547055 (P2008-547055A)

【公表日】平成 20 年 12 月 25 日 (2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報 2008-051

【出願番号】特願 2008-518171 (P2008-518171)

【国際特許分類】

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 9 G 3/34 (2006.01)

G 0 9 G 3/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 26/10 1 0 4 Z

G 0 3 B 21/00 Z

G 0 9 G 3/34 D

G 0 9 G 3/02 A

G 0 2 B 26/10 C

H 0 4 N 5/74 H

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

投影された画像における画像の歪みを減少させるための装置であって、

光のビームを生成する光源と、

一対の振動可能な走査ミラーと、

投影面において走査線のラスタパターンを形成するために、互いに直交する軸の周りで該走査ミラーを振動させるためのドライブアセンブリであって、各走査線は多数の画素を有し、該ドライブアセンブリは、供給ライン周波数によって起動され、かつ実質的に一定のドライブ速度で該軸のうちの 1 つの周りを一円周方向に、該走査ミラーのうちの 1 つを動かすためのドライブ周波数で動作可能なドライブを含み、該 1 つの走査ミラーは、該ドライブ速度よりも大きい戻り速度で該 1 つの軸の周りを反対の円周方向に共振周波数で戻ることが可能である、ドライブアセンブリと、

該投影面に該画像を形成するために、該レーザビームによって、該走査線において選択された画素を照明して、視認可能なようにさせるためのコントローラと、

該共振周波数と該ドライブ周波数と、該供給ライン周波数との間の電氣的干渉を減少させ、画像の歪みに影響されないようにするために、該ドライブ周波数および該供給ライン周波数に関して調和しないように該共振周波数を調節する手段と

を備えている、装置。

【請求項 2】

前記光源は、前記光のビームとしてレーザビームを発するレーザである、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記ドライブは、前記 1 つの走査ミラーが取り付けられる屈曲部と、該 1 つの走査ミラーを前記 1 つの軸の周りで動かすために、該 1 つの軸の周りを、前記円周方向のうちの少なくとも一方向に該屈曲部を屈曲させる手段とを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記供給ライン周波数は、50 Hz または 60 Hz であり、前記ドライブ周波数は、60 Hz または 85 Hz であり、前記共振周波数は、該供給ライン周波数および該ドライブ周波数の整数の倍数ではない、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記屈曲部は、前記 1 つの軸に沿って伸びる長手方向のねじれ部分を有し、各ねじれ部分は横方向の寸法を有しており、前記共振周波数は該横方向の寸法に依存する、請求項 3 に記載の装置。